



開拓

編集発行

安八郡輪之内中学校
PTA 会報委員会

題字 水野巨雄
印刷 (株)ダイキュー

祝卒業



美しい人間になろう

校長 水野巨雄

九十八名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは新生輪中二回生であり、卒業生の総数は八、四一五人となります。本年度は、新生輪中を一層輝かせるために、『輝け！はばたけ！輪中』を合言葉に、「美しさ・勢い・歌声のみなぎる学校」づくりに取り組んできました。中でも春の少年野球県大会に出場し一回戦勝利の快挙、輪中ソランの演技を取り入れた団対抗の種目など新しい取り組みで燃え上がった体育大会、皆さんの迫力満点の合唱で盛り上げた合

唱祭りなどより勢いがある明るい学校に変わってきました。さて、皆さんは九カ年の義務教育を終え、本当の意味での「ひとりだち」への旅立ちとなりました。これに先立ち、はなむけの言葉として『美しい人間になろう』を贈ります。
「人を愛すれば、すなわち人これを愛す」といわれるように、辛い時でも笑顔と明るさを忘れず、いつもプラス思考することが幸せに通じる道です。心身共にいつまでも美しく生きましよう。

内からの光を求めて

PTA会長 大橋直人

九十八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生は宝石の原石に例えられます。それは磨き方如何で潜在的な能力・資質を発露するという事です。原石から宝石になるのは素材の良さと研磨師の技量で決まりますが、人は石ではありません。研磨師（保護者・教師等）の努力だけで光り輝くものではなく、自らも輝こうと

する意志があつてこそ人としての輝きを得るものです。今までは他者からの関与によって磨かされていた事もあったと思えます。しかし、四月から進む路は分かれますが、内側からより輝く光を求めて弛まぬ自己研磨を続けていかれる事を期待します。自分探しの旅から自己研磨の旅へ、そして宝石へ：大きく羽ばたいて下さい。

創 es of 2002! in the future.

三年学年主任 伊室善弘
卒業おめでとうございます。
中学時代の思い出を大切に、
夢と希望をもって、お世話に
なった人への感謝の気持ちを
忘れずに

卒業しても
がんばるぞ!!
浅野正

夢のためなら
誰にも
負けられない
小足周平

夢にときめけ!
明日にきらめけ!
岩崎 絃丈

輝く未来に
向かって
ははたこう!
伊藤由美

中坊生活
最高のとき
by 伊藤徳也

夢を
突き進め!
太田 悠介

卒業
卒業永遠不滅
近藤 晴

笑顔
を
忘れず
に
☆
伊藤悠喜

みんな
なろう
バス
バス後
小寺 満

食
大好
大好
高橋育加里

高校生活
かんばります
山内勇二

3年間
楽しかった。
大橋 望美

夢を
適
持って
人生を!
遊谷和典

3年間
有難
小関 亮介

た
さんの
思い
出を
ありが
とう
浅井 宏美

高校行
ても
中学
みだ
に
福張
る
木村 春樹

中学
卒業
高校行
ても
頑張
りたい。
加藤 裕也

楽しい中学校
生活をありがとう。
橋本 健介

毎日
楽しく
過ごせ
た。
桐橋 崇智

過ぎて
改め
ざるを
得
ない。
安田 衣里

成せば
成る
渡辺 恵実

3-3の
みんな
が
頑張
り
ました
☆
中島 由美香

最高の
思い出
おっ
しかった
野村 賢志

中学生
生活
最高
でした
!!!
土井 由子

どこ
に行
っても
忘れ
ない
☆
篠田 侑季

夢の
大台
を
突破
した。
白川 英樹

3-3の
みんな
が
頑張
り
ました
☆
野村 梢

努力
し
続
け
ま
す!
下村 一斗

最高の
思い出
おっ
しかった
野村 賢志

我等
友情
永
不
減
米田 勇次

毎
日
も
楽し
かった
☆
片野 由かり

最高
☆
中
組
の
みんな
が
頑張
り
ました
☆
木野 絵梨香



夢と**努力**を
大切にがんばって
失ってはじめて知る
そのありがたさ 名和嘉勝

努力すよと
夢をこぼす
人生の美化を
いとうきよみ
かんしゃくの「く」を捨てて

今!その時
かいっぱい大切に
送ろう 坂

赤光白光
自分の光で
大いに輝かす
伊室

If you believe,
You will achieve!
Rochele
Marsall

一人一人の笑顔
いっまでも忘れないよ。

卒業おめでとう
笑かされたわ!
私色ハズレを!
西大

失敗を恐れず様々なことに
挑戦してみよう
佐藤知子

追いかけて生きよう
自分
佐々間安代

自分の好きな
もの広いのは
人間の心です
伊藤真理

ただひたすら
私が変わりましょ
白木知嘉子

精一杯 ひとむきに
夢に向かえ 精一杯 伊島史子

人生において大切なものは
避避である。この言葉が意味する
は、わがままを捨てたい
松岡十加子

気
元氣根氣和氣勇氣
氣を育て、自己の開花を
青い桂子

キャバツのよな
歯ごたえも口の中も
ぎっしりとした人間に
宇佐見嘉三

友をいたわる
花をいたわる
人をいたわる
愛をいたわる
松井浩

健康第一
元氣があかば何でもできる!!
窪田清文

卒業おめでとう
笑顔で明るく
元氣で美しく生きよう
校長 水野豆雄

卒業おめでとう
笑顔で明るく
元氣で美しく生きよう
校長 水野豆雄



リーダーとして

一年 大橋 功

前期は学級リーダー長、後期は学級代表としてクラスが一つになるように働きかけをしてきました。その取り組みの中で、何かをやりとげよう、改善しようという気持ちの前より強くなってきました。クラスや学年も少しずつ呼びかけに答えられるようになってきています。

二年生でも、今年の経験を生かし、仲間と共に考え合い、よりよい生活をつくりあげていきたいと思っています。

ひとりだちのできる自分

一年 高木崇代

「ひとりだちのできる生徒」その言葉を常に頭に置き、それに向かって努力し、壁にぶつかってきた一年でした。

「自分のことは自分で」とてもあたり前で簡単な事のように思えたのに、朝起きるだけでも自分でできず、実行することの難しさを痛感しています。

来年は二年生です。新入生に自分の姿で見本を示せるように常に自分をみつめ、ひとりだちに向かって努力し続けたいです。

一年を振り返って

最上級生として

一年 片野泰知

一学期の終わりに二年生が主となって壮行会を開き、先輩から部活の魂・心を引き継ぎました。それからは部長を中心に後輩をリードして、部活に力を入れてきました。しかし、今後は部活だけでなく、委員会や学校全ての面で最上級です。だから、学校の顔として、最上級生として、後輩や先生方にも頼られる存在になっていきます。そして、進路を胸を張って決定していきける自分になっていきます。

課題と財産

一年 安田怜未

この一年、様々な行事や日常から、私達二年生で考えていかなければならない課題や問題点が出てきました。私は今までそういうことから逃げてきた気がします。けれど学年委員長になり、そのままでは自分も、学年も成長しない事に気づきました。来年は、私達が「輪中の顔」となり、また進路を決定する年です。毎日の生活を充実したものにしていき、課題をみつめ財産を増やしていきたいです。

母親委員会

講習会に参加して思った事

副委員長 近藤 幸子

十一月二十八日(木)リトルホールにて、町P母親委員会主催のフラワー講習会が行なわれました。昨年と同様、クリスマスをイメージした寄せ植えを教えて頂き、日々忙しい時を過ごしている私にとって、わずかな時間ではありましたが、花の美しさに魅了され、暫し心静かな時を過ごさせて頂きました。毎日の生活の中で、花を觀賞するそんな心のゆとりを持ちたいと思えました。



安全委員会

一年間を振り返って

委員長 小林 瞳

例年行なわれてきました自転車点検も今年度は、各家庭で自転車の点検を受ける形になり、安全委員会としての活動は、登下校指導、人波作戦、登下校を

見守る会と、お忙しい中を皆様にご協力頂きました。

登下校を見守る会につきまし

ては、会員の皆様の参加が少なかった事が残念ですが、地域の子供の安全を地域のみんなで見守れるような形に少しでも近づけたのではないかと思います。

一年間皆様の

ご協力を頂きありがとうございました。



校外委員会

地域行事に参加する

副委員長 吉安 八代美

何もわからず不安な思いでスタートし、一年が過ぎました。

校外委員会では、ぞうすい祭りを始め、町内の大きな行事を先生方や本部役員さんと共にパトロールしました。産業祭では、ボランティアでゴミ拾いをして、イベントの手伝いをしていた生徒さんを数多く見かけ、とても感心し、嬉しく思いました。こういった地域の行事に参加する事は、次代を担う子供達にとり大切な事であると思います。進んで参加してほしいと思います。この一年の活動を通して多くの事を勉強させて頂きました。ありがとうございました。

PTAの一年間



学年委員会

家庭教育学級について

一年学年委員長 肥田 弘美

四月の開校式から始まり、親子でロックソラン、泓先生のお話など一年間にわたって、参加させて頂きました。早いもので後、閉校式を迎える時期となりました。筋肉痛で動けなかつたこと、泓先生のお話や手品など、いい経験になりました。一年生の親さんには、お忙しい中ご協力、ご参加ありがとうございました。

スキー研修を終えて

二年学年委員長 田中 陽子

この冬最大の寒気団が訪れる中、研修に向かった二年生。充分なレッスンができるのだろうか心配していましたが、この寒さを物ともせず、積極的にレッスンに取り組み、大きな成果を上げて帰ってきました。でもこの成果の影には、研修を支えてくださった多くのスタッフがあつたことを忘れないでほしいです。そして、改善すべき点は改め、この意気込みを今後の生活に生かしてほしいです。

成人委員会

みんなの力

委員長 高木 清江

親中心のPTA行事の多い中、今年度は親子先生が一緒に行える企画にチャレンジする機会を与えて頂きました。

デイベート大会では化学調味料を使わない豚汁作りに、沢山の野菜を寄附して頂いたり労力を惜しまず提供して頂いたり、それこそ多くの方々のご協力で成し遂げる事が出来ました。嫌な顔つせず全力で頑張った素晴らしい委員さん、そして会長さん始め、実行委員、先生・生徒の皆様にご協力、心より感謝申し上げます。

会報委員会

一年間を終えて

副委員長 吉田 百合子

会報委員会では、会員の皆様や、先生方のご協力により、年四回の「開拓」を発行することができました。一年間、本当にありがとうございました。

(正)大橋由記子 中島 浩子

(副)吉田百合子 田中 里美

児玉登喜子 足利由紀子

加藤 数子 棚橋 美鈴

内藤 一美 国島 桂子

(本部)吉川 幹子

(学校)白木知嘉子 青山 桂子

